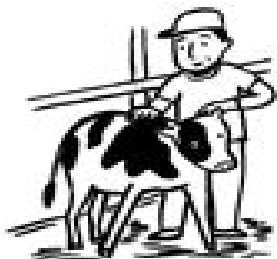


財政経済常任 委員会審議

農業・経済・雇用・財政などを 議論!

私は、今議会から財政経済常任委員会に所属しました。市の財政とともに、企画、そして農水産業や中小企業、雇用の問題などが審議される委員会です。中心市街地のこと、農地法の改悪、市の誘致企業への助成金のあり方、定額給付金、土地開発公社からの土地の取得、納税通知事務のなかで生まれた間違いなど、さまざま質問しました。そのなかで、4つの質問を紹介します。



阿寒に続いて桜田にもTMRセンター開設

農協主体のTMRセンター（注）が阿寒町徹別に続いて、桜田にもつくられることになり、10戸の農家が参加します。「穀物価格が値上げに転じている。TMRセンターの飼料価格の見通しはどうか」と質問、「デントコーンの作付けを増やしたり、ブレンドを変えたりして、値上げしないように努力している」と答弁がありました。

「規模拡大ができない、後継者がいない、草づくりにこだわりたい」などの理由でTMRセンターに参加しない農家も10数戸あります。「TMRセンターに参加しない農家も含めて共存共栄を図るようすべき」と質問、「参加しない農家も地域で支えていきたい」との考えが示されました。

TMRセンター・・・牧草地を農家から借り受けて飼料の生産・配合・梱包・配達を一括して行う施設で、参加農家はここから飼料を購入します。農家は、飼料生産から解放され、労働時間は大幅に短縮・軽減されますが、その分新たな経費はかかり、さらなる規模拡大が必要になります。

王子製紙が機械を止め、 大幅な人員削減を行う！

王子製紙は、不況による紙需要の減退から、一部機械設備を中止、大規模なリストラを行いました。人員削減の規模は王子製紙・王子板紙で120人、下請けは90人、合計では210人になります。異動先も国内だけではありません。残った2基の機械で、将来ともに釧路工場は残したいとは考えているようです。



炭鉱が縁のベトナム・マオケーとの 国際姉妹都市締結を提案

6月初旬、釧路コールマインを受け皿として進められている海外からの研修事業の継続を求め、ベトナムを訪問してきました。ベトナムの炭鉱の中心はマオケーで、多くの炭鉱技術者が釧路で研修を受けました。



また、コールマインの技術者も、ベトナムでの技術指導のため駐在しています。炭鉱が縁で、釧路市議会がベトナムを訪れたのも3回目です。「活発な交流が行われており、研修事業の継続にとっても効果的と思われるベトナムとの国際姉妹都市の締結を検討したらどうか」と提案しました。市は、「姉妹都市を減らすことを検討中であり」と消極的ですが、夢も実現性もある話ではないでしょうか。

また、コールマインの技術者も、ベトナムでの技術指導のため駐在しています。炭鉱が縁で、釧路市議会がベトナムを訪れたのも3回目です。「活発な交流が行われており、研修事業の継続にとっても効果的と思われるベトナムとの国際姉妹都市の締結を検討したらどうか」と提案しました。市は、「姉妹都市を減らすことを検討中であり」と消極的ですが、夢も実現性もある話ではないでしょうか。

障がい者・介護施設の土地確保に市が財政支援（阿寒湖温泉）

阿寒湖温泉地区に、障がい者福祉と介護サービスを一緒に行う「共生型多機能施設」がつくられます。一部市有地の他は、大部分は民有地を借りて運営します。その際、市が地権者から借りて、改めて施設に貸し付ける。土地借用の経費の半分は市が負担することになりました。

介護施設の土地確保に市が財政支援をすることは画期的なことです。この支援は今のところ阿寒湖温泉地区に限定したのですが、介護施設の充実のために他の地域でも積極的に支援していく試金石となればよいと思っています。

